

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成 27 年 8 月 25 日（火）18:30～20:30

ところ：美濃路大垣宿本陣跡（竹島会館）

団 体：大垣祭出軸運営委員会青年部会

【市長】

今年の大垣まつりは、「大垣祭の軸行事」が国重要無形民俗文化財に指定されたことやユネスコ登録の提案など新聞に掲載されたこともあってか、近隣の他県ナンバーの車が多かったです。今後も、大阪や東京など、さらに遠くからも集客していきたいです。

【青年部会】

取材の中で京都の祇園祭にも負けていないと嬉しいことも言っていただきました。

大垣まつりの2日間しか13両の軸が見られないのかとの声がありましたが、どう考えておられますか。



【市長】

ほとんどパターンが決まっている祭りが多いなか、大垣まつりは変化があって面白いと来賓からも言っていただきました。書を書くからくりや賑やかな鯰押さえ、神楽を舞う巫女のからくりなど、それぞれ違った芸をするといった特徴があります。まさに東西文化の接点となるこの地域ならではの非常に面白い大垣まつりであり、全国に向けてPRしていきたいです。さらに海外向けにも外国語でPRしてもらいたいと思っています。

開催日数に関しましては、他の国重要無形民俗文化財指定の祭りは1日限りのところが結構多いです。それに対し、大垣まつりは2日間にわたり昼夜見られますし、前触れもあるので少なくはないと考えています。

【青年部会】

若い人たちの地域活動への関心が薄く、地元に残る人が非常に少ないと感じています。市では補助金を出してまちなかに住んでもらう提案をしていますが、ほかにもよい方法はないでしょうか。

【市長】

大垣市内の人口は 40 代前半の働き盛りが圧倒的に多いです。大垣まつりをきっかけにして、まちなかの親世代が郊外の子や孫世代を呼び戻し、共に練習をすれば 3 世代の繋がりも強くなり、よいのではないかと思います。

【青年部会】

町内の子ども数が少なく深刻な状態となっています。まちなかに住む人を増やす方法はないでしょうか。

【市長】

まちなかの空洞化の問題については、駅近くのマンション完売など見直されつつあります。駅に近く、広い公園や飲食店が徒歩圏内にあり、医者も多いなど、まちなかとしてのメリットがあります。また、軸を持つ 10 か町は地盤も丈夫で災害に強く安全な場所であるという利点があり、今後は長いタームで開発も進んでいくと思います。



【青年部会】

ワークライフバランスが会社にも浸透するなか、大垣まつりに関しても理解してもらえる環境が整ってきています。今後まちなかだけではなく、大垣まつりに関心のある周りの人も誘っていきたいと考えています。

また、大垣まつりがユネスコ登録されれば世界的にも注目されるので、フレンドリーシティにPRするのもひとつの方法だと思います。

【市長】

世界的に大垣まつりをPRしていくためにも、観光パンフレットを充実させていきたいと考えています。時代と共に変化していく部分と、しっかり守っていかなければならないものがある中、守るべき代表格が伝統を重んじる大垣まつりであると思っています。

【青年部会】

観光客を呼び込むのも大事ですが、まずは自分たち自身が楽しんで行ってきたいと思います。

来年の秋にユネスコ指定を受けイベント等を行うことになった場合に、2 両の踊り軸を保有する町内は、準備や練習が大変ではないでしょうか。

【市長】

継続して大垣まつりが行えるよう、ネットワークを広げて人を呼び一緒にやっていかなければならないと考えています。

来年の大垣まつりは、ユネスコ登録に向けて関西、関東や海外へもPRを積極的に行っていく予定です。

【青年部会】

国重要無形民俗文化財に指定されたので、近隣の市町村でも関心が高まりました。車で来る方も多いため、駐車場の問題を解決し、軸の巡行状況が分かるなどの環境を整えたいです。

【市長】

まつりというものはもともと地域ごとに地元住民を対象として行われてきたものですが、国重要無形民俗文化財に指定されたことで全国区になりました。

駐車場は、市営駐車場を利用してもらい、駅前周辺の祭りであるため、電車でも来てもらえるようPRしていきたいです。軸の位置情報はスマートフォンで確認できるサービスを実施しています。

【青年部会】

自分たちの世代は、まずはネットで検索をします。大垣まつり専用のサイトをつくり、ブログやフェイスブックを10か町全体で共有することで、大垣まつり当日だけではなく、日頃のささいな活動も発信できます。



【市長】

ネットはPRの手段のひとつとして有効であると思います。現状は、観光協会の行事のひとつとしてリンクを貼っているので、そのページを充実させていくのはどうでしょうか。

【青年部会】

チラシに比べてネット配信はコストがかからないかも知れませんが、誰が管理するのが問題になります。青年部会から情報は提供できるので、できれば大垣市で管理してもらいたいです。

かつて大垣まつりの音楽は生演奏でした。提灯も電灯ではなくろうそくを使用していたなど、4点ほど変わったところがあります。将来的には昔と同じ大垣まつりに戻したいと考えています。

【市長】

伝統にこだわるのは素晴らしいですが、ロウソクの取り扱いなど、安全面や手間暇も含め大変な部分もあるように思います。

【青年部会】

これからは地元だけではなく、観光客にも参加してもらえる大垣まつりを提案したいです。駐車場はむすびの地記念館の方にもう少しあった方がよいと思います。13両の軸が一直線に並ぶ場所は本町、船町なので、休憩場所を現在の切石から客が集まりやすい船町の通りにすれば壮観かと思います。12の軸蔵においてスタンプラリーを行ってはどうでしょうか。

過去の貴重な見送りの保管場所が無いのも問題点です。軸蔵会館をつくり、市で保管をしてもらえないでしょうか。

【市長】

空調や湿度管理をしての保管は非常に大変であり、残すものを選別することが大切になります。出軸会館の要望もありますが、大垣まつりは動きがあるのが特徴で、単に展示・軸蔵だけで集客できるかが課題です。



【青年部会】

大垣まつりは2日間しかないので大垣観光の1つとして、軸蔵を見て歩くルートを作りたいです。大垣まつり以外の日でも、説明看板にスマホをかざせば、軸が表示される環境をつくってはどうでしょうか。

ユネスコに申請された市や町にも声を掛け、統一した曳山カードを作れば、コレクターをはじめ全国から人が集まりブームに繋がるかもしれません。

最大の問題は、町内の人口が減るなか、軸の維持管理ができるのかということです。金銭面での維持管理は今後大きな問題になるので、非営利法人を設立し修繕にかかる費用を一元化させることが必要だと思います。

【市長】

軸蔵コースを巡るスマホのアイデアは面白いですね。金銭的な維持管理は、システムを考えていかなければなりません。

【青年部会】

新庁舎に軸の1両を展示して大垣まつりのイメージを高めたり、ふるさと納税に

大垣まつり体験を付けて存分に楽しんでもらってはどうか。

また、臨時駐車場として、最寄りの小学校の運動場を開放してはどうか。

トイレが少ないため、大垣まつり開催中に簡易トイレを設置するとともに、トイレの設置情報を提供すると人を呼ぶポイントにもなります。

【市長】

体験型ふるさと納税事業の案として、大垣まつりへの参加は面白く、考えていきたいです。

駐車場として運動場を利用すると、土が荒れて運動中につまずくといったことが起こるので難しいです。トイレは水門川や大垣城西側の防災簡易トイレも含めて設置されており、イベント時だけとなると維持管理の問題も含め難しいかと思います。

今回は話し合う良い機会をいただきましたので、関係部署とも検討をしていきたいです。本日はありがとうございました。

